

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第74期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】 | 日本梱包運輸倉庫株式会社 |
| 【英訳名】 | NIPPON KONPO UNYU SOKO CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員 黒岩正勝 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区明石町6番17号 |
| 【電話番号】 | 03(3541)5331（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役執行役員経理部長 忝田泰典 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区明石町6番17号 |
| 【電話番号】 | 03(3541)5331（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役執行役員経理部長 忝田泰典 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第73期 第1四半期連結 累計期間 | 第74期 第1四半期連結 累計期間 | 第73期 |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日 | 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日 | 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 35,975 | 41,383 | 165,205 |
| 経常利益 (百万円) | 3,557 | 3,361 | 16,401 |
| 四半期(当期)純利益 (百万円) | 1,844 | 1,311 | 11,578 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 2,798 | 826 | 12,810 |
| 純資産額 (百万円) | 138,441 | 147,132 | 147,847 |
| 総資産額 (百万円) | 194,266 | 224,627 | 234,476 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 26.48 | 18.80 | 166.20 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 26.43 | 18.75 | 165.78 |
| 自己資本比率 (%) | 71.2 | 64.9 | 62.5 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響はあるものの、政府による経済政策や金融政策を背景として企業収益や雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当物流業界におきましては、燃料価格の高騰、ドライバー不足、競争の激化などにより厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況下にあつて、当社グループは福岡県粕屋郡志免町及び岡山県岡山市に倉庫を建設し、福井県福井市に出張所を新設するなど業務拡大に向けた積極的な設備投資と営業活動を推進してまいりました。また、前期末に㈱イトー急行を連結子会社化したこともあり、売上高は前年同期比15.0%増の413億83百万円となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の増加や作業効率の低下などから前年同期比2.5%減の30億25百万円となりました。

経常利益につきましては、前年同期比5.5%減の33億61百万円となりました。その要因といたしましては、営業外収益が投資有価証券評価益がなくなったことなどにより前年同期比6.6%減の4億86百万円となった一方、営業外費用が為替差損の発生などにより前年同期比129.3%増の1億50百万円となったことによるものであります。

四半期純利益につきましては、前年同期比28.9%減の13億11百万円となりました。その要因といたしましては、特別利益の投資有価証券売却益が減少したことによるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

運送事業

前期末に㈱イトー急行を連結子会社化したことなどにより貨物取扱量が増加し、売上高は前年同期比19.3%増の212億62百万円となりました。営業利益は、輸送効率の低下や燃料価格の上昇などにより前年同期比65.6%減の2億16百万円となりました。

倉庫事業

保管貨物量の増加により、売上高は前年同期比18.5%増の62億34百万円となりました。営業利益は、保管効率の向上や増収効果により、前年同期比14.6%増の15億94百万円となりました。

梱包事業

業務量の減少により、売上高は前年同期比1.9%減の86億63百万円となりました。営業利益は、売上高が減少した影響などにより前年同期比20.9%減の5億10百万円となりました。

テスト事業

業務量の増加により、売上高は前年同期比30.1%増の36億51百万円となりました。営業利益は、増収効果により前年同期比93.1%増の4億52百万円となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 152,000,000 |
| 計 | 152,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 70,239,892 | 70,239,892 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 70,239,892 | 70,239,892 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成26年4月1日～ 平成26年6月30日 | - | 70,239,892 | - | 11,316 | - | 12,332 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 478,400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 69,715,000 | 697,150 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 46,492 | - | - |
| 発行済株式総数 | 70,239,892 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 697,150 | - |

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式39株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%) |
|--------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| 日本梱包運輸倉庫株式会社 | 東京都中央区明石町 6番17号 | 478,400 | - | 478,400 | 0.68 |
| 計 | - | 478,400 | - | 478,400 | 0.68 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,071 | 13,868 |
| 受取手形及び売掛金 | 32,478 | 30,352 |
| 有価証券 | 28,213 | 21,407 |
| 商品及び製品 | 10 | 17 |
| 原材料及び貯蔵品 | 418 | 439 |
| 繰延税金資産 | 1,620 | 1,636 |
| その他 | 1,828 | 2,264 |
| 貸倒引当金 | 12 | 11 |
| 流動資産合計 | 80,628 | 69,974 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 44,123 | 46,569 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,848 | 6,167 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,076 | 1,069 |
| 土地 | 67,397 | 68,084 |
| リース資産(純額) | 223 | 224 |
| 建設仮勘定 | 3,649 | 2,407 |
| 有形固定資産合計 | 122,320 | 124,522 |
| 無形固定資産 | | |
| | 1,512 | 1,446 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 25,240 | 24,012 |
| 長期貸付金 | 581 | 645 |
| 退職給付に係る資産 | 71 | 51 |
| 繰延税金資産 | 2,151 | 2,123 |
| その他 | 2,111 | 1,990 |
| 貸倒引当金 | 141 | 140 |
| 投資その他の資産合計 | 30,014 | 28,683 |
| 固定資産合計 | 153,848 | 154,652 |
| 資産合計 | 234,476 | 224,627 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,669 | 10,846 |
| 電子記録債務 | 5,491 | 5,258 |
| 短期借入金 | 6,149 | 3,115 |
| 1年内償還予定の社債 | 100 | 100 |
| リース債務 | 58 | 58 |
| 未払法人税等 | 4,144 | 1,355 |
| 賞与引当金 | 2,790 | 3,212 |
| 役員賞与引当金 | 142 | 37 |
| 設備関係支払手形 | 1,812 | 3,147 |
| 営業外電子記録債務 | 2,797 | 2,570 |
| その他 | 10,562 | 8,009 |
| 流動負債合計 | 45,719 | 37,711 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 6,542 | 5,991 |
| リース債務 | 168 | 171 |
| 繰延税金負債 | 5,936 | 6,048 |
| 退職給付に係る負債 | 6,600 | 5,932 |
| 役員退職慰労引当金 | 229 | 215 |
| その他 | 1,433 | 1,422 |
| 固定負債合計 | 40,910 | 39,783 |
| 負債合計 | 86,629 | 77,494 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,316 | 11,316 |
| 資本剰余金 | 12,376 | 12,374 |
| 利益剰余金 | 114,329 | 114,011 |
| 自己株式 | 648 | 640 |
| 株主資本合計 | 137,374 | 137,061 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,641 | 9,405 |
| 為替換算調整勘定 | 53 | 204 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 588 | 563 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9,106 | 8,637 |
| 新株予約権 | 187 | 181 |
| 少数株主持分 | 1,178 | 1,251 |
| 純資産合計 | 147,847 | 147,132 |
| 負債純資産合計 | 234,476 | 224,627 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 35,975 | 41,383 |
| 売上原価 | 31,053 | 36,226 |
| 売上総利益 | 4,922 | 5,156 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,820 | 2,131 |
| 営業利益 | 3,101 | 3,025 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 63 | 43 |
| 受取配当金 | 139 | 165 |
| 受取賃貸料 | 17 | 9 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 72 |
| 受取補償金 | 10 | - |
| 為替差益 | 44 | - |
| 投資有価証券評価益 | 141 | - |
| 雑収入 | 90 | 195 |
| 営業外収益合計 | 521 | 486 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 32 | 41 |
| 為替差損 | - | 74 |
| 雑支出 | 33 | 35 |
| 営業外費用合計 | 65 | 150 |
| 経常利益 | 3,557 | 3,361 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 12 | 12 |
| 投資有価証券売却益 | 420 | 1 |
| 特別利益合計 | 432 | 13 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 34 | 0 |
| 固定資産除却損 | 2 | 56 |
| 投資有価証券売却損 | 0 | - |
| 減損損失 | 0 | 1 |
| 特別損失合計 | 38 | 58 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,951 | 3,316 |
| 法人税等 | 2,103 | 2,020 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,847 | 1,295 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 3 | 16 |
| 四半期純利益 | 1,844 | 1,311 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,847 | 1,295 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 683 | 235 |
| 為替換算調整勘定 | 328 | 222 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 25 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 60 | 36 |
| その他の包括利益合計 | 951 | 469 |
| 四半期包括利益 | 2,798 | 826 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,794 | 842 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3 | 16 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、(株)イシン商会はその親会社であります(株)イトー急行に吸収合併されたため持分法適用の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が462百万円増加し、退職給付に係る資産が29百万円、退職給付に係る負債が748百万円それぞれ減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 1,165百万円 | 1,608百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,740 | 25 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成26年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 2,092 | 30 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月30日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 運送事業 | 倉庫事業 | 梱包事業 | テスト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,816 | 5,260 | 8,835 | 2,806 | 34,718 | 1,257 | 35,975 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 40 | 48 | 105 | 8 | 203 | 254 | 457 |
| 計 | 17,857 | 5,308 | 8,940 | 2,814 | 34,922 | 1,511 | 36,433 |
| セグメント利益 | 629 | 1,390 | 645 | 234 | 2,900 | 160 | 3,060 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,900 |
| 「その他」の区分の利益 | 160 |
| その他の調整額(注) | 40 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,101 |

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 運送事業 | 倉庫事業 | 梱包事業 | テスト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,262 | 6,234 | 8,663 | 3,651 | 39,812 | 1,571 | 41,383 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 69 | 71 | 177 | 3 | 322 | 194 | 516 |
| 計 | 21,332 | 6,306 | 8,841 | 3,654 | 40,134 | 1,765 | 41,899 |
| セグメント利益 | 216 | 1,594 | 510 | 452 | 2,774 | 207 | 2,982 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,774 |
| 「その他」の区分の利益 | 207 |
| その他の調整額(注) | 42 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,025 |

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 26円48銭 | 18円80銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 1,844 | 1,311 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 1,844 | 1,311 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 69,647 | 69,761 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 26円43銭 | 18円75銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(百万円) | - | - |
| 普通株式増加数(千株) | 142 | 185 |
| (うち新株予約権)(千株) | (142) | (185) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

当社は平成26年8月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議しました。

(1) 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

| | |
|-----------|--------------------------|
| 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| 取得する株式の総数 | 2,200,000株(上限) |
| 取得する期間 | 平成26年8月4日から平成26年11月28日まで |
| 取得価額の総額 | 4,000百万円(上限) |
| 取得の方法 | 自己株式立会外買付取引及び市場買付取引 |

(2) 上記決議内容に基づき平成26年8月4日までに取得した株式(約定ベース)

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 取得株式数 | 650,000株 |
| 取得価額 | 1,177百万円 |
| 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け |

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月11日

日本梱包運輸倉庫株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 友 之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 田 好 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本梱包運輸倉庫株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本梱包運輸倉庫株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管している。

X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていない。